

令和3年度とちぎ6次産業化実践セミナー
第4回講座実施状況について

【日 程】 令和3(2021)年10月26日(火)、午後

【会 場】 とちぎアグリプラザ

【参加者】 14名

【テーマ、講師、講義概要】

＜パッケージデザインとネーミング作り＞

株式会社ファームステッド 代表 阿部 岳 氏＞

＜講義概要＞

パッケージデザインは旗印。自分は何か、価値は何か。Brandが価値。

福島県福島市フルーツのいとう園。二房の枝付き干しブドウを高額で販売。発信力の高まる「目立つ」、パッケージを貼箱に変更し高級感を演出。

北海道十勝ハッピーネスデーリィ嶋木牧場。商品ごとにバラバラだったデザインを、分かりやすいパッケージにし、シンボル(牛、牛乳)を付け、赤い色に統一。美味しい、高品質、高くても買ってくれるようになった。

色やデザインの統一でイメージができる。誰が作っているか、自分が誰なのかを出す、マークの付け方大切である。

＜受講者が製造した加工品等に対するアドバイス＞

- ①試作品の「ベビーコーンピクルス(瓶詰)」。デザイン、販路の設定、商品の魅力の明確化、生産経費・加工賃等を勘案した価格設定をすると良い。
- ②地元産ブドウ使用の「ワイン」。価格設定、販路開拓、ブドウ産地がわかる名称設定の必要性。ネーミングに「しずる感」とあると良い。
- ③乾椎茸を活用した直ぐ食べられる加工品を検討中のもの。会社のシンボルマーク的なものを最初の段階からデザインし、新商品にも使えるようにすると良い。

